

昭和六十年七月起

浮葉町の由来

守山市浮葉町

琵琶湖南湖の東岸 野洲川の伏流の湧き出
る舟山川 美戸津川 十二郷用水の水源地
浮気とは水気を漂わす水沢の地の意 浮気民の
拠拠で六角氏と組んで元龜年間織田信長と
抗戦している 当地は古くは源氏螢の生息地と
して著名である

浮気村 江戸期――明治二十二年の村名

栗太郡のうち 始め三河刈谷藩福垣氏領のち
旗本酒井氏領 村高は「寛永高帳」で四〇〇石余
「元禄御帳」では四二九石余で以後幕末まで

変らず（天保郷帳旧高旧領）

水神の住吉神社のほか酒井氏の菩提寺曹洞宗源
昌寺があり多くの雲水をかゝえていた 明治五年
滋賀県に所屬 同十三年の戸数三八人口一六九
全戸農家で副業に米屋も営むものあり

米・麦のほか果樹実綿藍葉を産す 水車が四
ヶ所あり豊かな湧き水と利用 同二十二年栗太
郡物部村の大字浮気となる

浮気 明治二十二年（昭和四十五年）の大字名

はじめ物部村 昭和十六年から野洲郡守山町
の大字同四十五年 現行の守山市浮気町となる

ふけらよう（浮気町） 千五二四

〔成立〕昭和四十五年七月一日〔直前〕野洲郡守山町
大字浮気〔世帯〕一五五〔人口〕五八七

市の南東端南東は栗太郡栗東町に接する

南は県道守岡栗東線 西に東海道本線が通る

献上ホタルとして知られていたに守山ホタルのかつての

生息地住吉神社の一月の八日 祇事火まつりは

勝部神社とともに有名であるが六方を射る祇

事炭火から神火を得る方法など、この神社が

古式を伝える元亀元年浮気氏は佐々木六角

承禎とともに野洲川原で信長軍と戦い敗れ、若狭小浜の酒井氏の知行となつた。

その菩提寺曹洞宗源昌寺がある。源昌寺にはかつて多くの所化(雲水)がいて地方の名刹であつた。

ほかに寺院には住吉神社の祇宮寺とかねていに真宗大谷派雲蔵寺と曹洞宗佛母庵がある。吉身町寄りの地は『日本書記』持統天皇紀の登須寺の寺地である。地は野洲川の堆積した優良な粘土が得られた。

大正七年江州煉瓦が操業を開始したが昭和四十六年需要が減り、ため解散跡地は宅地となつた。

勸業福祉会館 つかやま花
グランドメゾン守山

昭和五十五年 五月
昭和五十九年 三月

由緒ある 益須寺 南遺跡地

海気町三ツッ番地ノ一四（通稱守山駅東口）

この地は古来から益須川の伏流水が多く、泉を湧かせ、水清く森茂く豊かな自然のなかり、かつては天然記念物「源氏螢」群生の地であつた。

都賀山ツガの名は、持統天皇の七年（西暦六九三年）の昔に、かのぼる当時この地に益須寺といふ寺があつて、體泉によつて治療が行はれていて保養する人々が多かつた。そのことが都に知れて、ときめ天皇から特使が派遣され、この寺に水田四丁、布六ツ反が寄進され

醴泉も発見したものは絹、鉄等も賜った。
その上にこの年々税が免除され国司は位一級を進
められるなど大変なさきであつた。爾後、この地
も都から賀せられた処すなわち都賀山と称する
ことになつたと伝えられる。

日本書記に見えるこの記録は実に我が国療養
施設の最初のものであり、しかもこれが民営であつた
ことに注意すべきである。故に我が国の社会福祉事
業は守山から始まつたとも云える。

(奈良大学教授 内田秀雄先生)

浮氣の村は沼池のようであり丁度浮いているような状態
で水面はいつも雲がたなびいているようで水が常に
上昇して紫氣天に浮いて動かすという情景であつ
たので浮氣の名があると云う

水ぎれ(洪水)のとき浮氣の村を寄つて下さつた千体地
蔵尊が祀つてある 浮氣の鬼門を寄る千体地藏
で今でも毎年八月の小盆には泥山のお供へ物と催
しものでにぎわつてゐる それは北条六兵衛氏宅の近
くでお堂の裏は琵琶湖大橋取付道路が東西に通
つてゐる サンヤレ山には神興が埋めてあると伝え
聞か南の方百米程の処にあつたが大正十二年の

耕地整理下無くなり昔は神社があつたと聞く

今井（十郷井）

辻村、出庭、中村、浮気、千代、阿村、伊勢村、勝部、鳩鷹堂、二町
古高の各字現在の町をもつて十郷井と云う

出庭、中村、辻村と上三郷、浮気以下と下七郷と云つた
千代が下七郷の頭にあるので小村ではあるが七郷頭とし
て指揮をとつた

刻水、野洲川の南岸から取水する「一ノ井」「中ノ井」及び
「今井」は古来しばらく紛争があつた水郷である一番下
流の今井は中郷あつたので普通「十郷井」と云われて
いる

「守山の社会福祉」よりこのように我が国の社会福祉施設
の発祥地益須奇南遺跡のあとに勤労福祉会館「つが
やま荘」が建設された総工費四三万四千円で昭和五十五年
四月三十日竣工して又建設された土地には今から約六十五
年前守山市で初めて工場が設置された江州煉瓦の工
場の操業地であり良質の粘土質土壤に恵まれている
このような西緒ある地域の歴史から「つがやま荘」建設テ
ーマと水と緑と土とを記している

国鉄守山駅東口を出れば近江富士湖南アルプスの連山を
背景としているが今ではブランドメゾン守山が設立(昭五十五年三月)
され滋賀銀行守山支店、滋賀相互銀行守山支店をはじめ

十三、三の店舗と有する 十五階建の四二七世帯の高
層住宅街になった

昭和五十八年三月現在

浮気町（但、グラントメゾン寄みと除く）

世帯数 四二二

人口 一四六七（内、男六九六、女七七二）名

東国地 昭和五十三年二月設立 一五〇戸

ガーデンハウス 昭和五十八年 七九戸

浮氣小字名

井田	二反長	駒井	茶ノ木原	中流	松塚(作田)
西ノ口	辻ノ前	中筋	梅田筋	越	梅田筋(二反長)
五反田	相風	推ノ木下	向小路	東筋	
		門屋前	松塚	西筋	高樋
	中ノ町	下流	上流	五反長	一ツ橋
	角街道				

昭和六十年七月

角川文庫

地名辞典
L 才板翠

文枝正

西村長浮

執筆

谷浩雲